

病院と地域をむすぶ



2017年 **8月号**

発行：2017.8.9 総合病院 南生協病院

7月実績

一日外来患者数:849.5人 一日入院患者数:263.5人 ベッド稼働率:86.4%
救急車:234台 手術数:107件

BLS(一次救命処置)委員会の取り組み

BLS委員会

BLSとは Basic Life Support (一次救命処置)の略称です。一次救命処置とは急に倒れ意識がなくなった人、心肺停止状態になった人に対して、その場に居合わせた人が救急隊や医師に引き継ぐまでの間に行う応急手当のことです。

専門的な器具や、薬品などを使う必要がないので、正しい知識と適切な処置の仕方さえ知っていれば誰でも行うことができます。当院では、急変時に対応できるスタッフを育成することを目的に委員会が発足しました。人の命を救うためにはトレーニングが必要です。そのため毎月第水曜日に研修を開催し、胸骨圧迫(心臓マッサージ)やAED(自動体外式除細動器)を使用し、実践に基づいたトレーニングを行っています。繰り返し行うことで必要な技術を身体で覚えることができます。いざという時に慌てず対応し一人でも多くの命を救うことができるよう活動しています。



教えて技師さん！バリウム検査と胃カメラ検査とどっちがいいの？

放射線科 大岩大祐

みなさんは胃の検診を行うときに胃カメラとバリウム検査のどちらを選びますか？

苦痛の少ない検査を選ぶ方がほとんどだと思いますが、それぞれの検査にメリット・デメリットがあるのはご存じでしょうか。

まず、胃カメラのメリットは小さな病変で発見しやすい、異常があった時はその場で組織を取って良悪性の検査をすることが出来る点です。しかし患者様の負担が大きく、術者の技量に影響されやすいというデメリットもあります。対してバリウム検査では、胃全体の形を見ることができ、病変部の位置関係を把握しやすいですが、異常があった時は良悪性の判断の為に胃カメラをする必要があります。

さらに細かな違いはたくさんありますが、どちらの検査も100%ではないので毎年同じ検査を受け続けるのではなく、何年かに1度はもう一方の検査を受ける様にするのが良いかもしれません。